

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第62期第3四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	木徳神糧株式会社
【英訳名】	KITOKU SHINRYO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 平山 惇
【本店の所在の場所】	東京都中央区銀座七丁目2番22号 （同所は登記上の本店所在地で、実際の業務は下記で行っております。） 東京都江戸川区西瑞江二丁目14番6号
【電話番号】	03（5636）1501（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門財務部長 稲垣 英樹
【最寄りの連絡場所】	東京都江戸川区西瑞江二丁目14番6号
【電話番号】	03（5636）1501（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員 管理部門財務部長 稲垣 英樹
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第62期 第3四半期連結 累計期間	第62期 第3四半期連結 会計期間	第61期
会計期間	自平成21年1月1日 至平成21年9月30日	自平成21年7月1日 至平成21年9月30日	自平成20年1月1日 至平成20年12月31日
売上高(千円)	79,444,974	26,392,103	100,626,832
経常利益(千円)	682,720	160,606	1,187,534
四半期(当期)純利益(千円)	408,421	101,287	880,426
純資産額(千円)	-	5,049,260	4,726,113
総資産額(千円)	-	23,253,307	27,313,449
1株当たり純資産額(円)	-	545.08	505.54
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	48.16	11.94	103.81
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	-	19.9	15.7
営業活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	1,875,709	-	922,954
投資活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	234,891	-	205,696
財務活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	1,696,106	-	1,190,417
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	2,207,095	2,271,377
従業員数(人)	-	427	415

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結会計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

3【関係会社の状況】

当第3四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

4【従業員の状況】

(1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	427	(336)
---------	-----	-------

（注）従業員数は就業人員（当社グループからグループ外への出向者は除いており、グループ外から当社グループへの出向者は含んでおります。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約及び契約社員を含み、派遣社員を除いております。）は、（ ）内に当第3四半期連結会計期間の平均人員を外数で記載しております。

(2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数（人）	162	(102)
---------	-----	-------

（注）従業員数は就業人員（当社から社外への出向者は除いており、社外から当社への出向者は含んでおります。）であり、臨時雇用者数（パートタイマー、嘱託契約及び契約社員を含み、派遣社員を除いております。）は、（ ）内に当第3四半期会計期間の平均人員を外数で記載しております。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

当第3四半期連結会計期間の生産実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
米穀事業(千円)	12,261,966
食品事業(千円)	840,046
合計(千円)	13,102,013

- (注) 1. 金額は製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 商品仕入実績

当第3四半期連結会計期間の商品仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
米穀事業(千円)	10,010,304
鶏卵事業(千円)	1,377,161
食品事業(千円)	506,341
飼料事業(千円)	804,994
合計(千円)	12,698,801

- (注) 1. 金額は仕入価額によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 受注状況

該当事項はありません。

(4) 販売実績

当第3四半期連結会計期間の販売実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
米穀事業(千円)	21,809,837
鶏卵事業(千円)	1,504,189
食品事業(千円)	2,077,966
飼料事業(千円)	1,000,109
合計(千円)	26,392,103

(注) 1. 本表の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については相殺消去しております。

3. 当第3四半期連結会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
	金額(千円)	割合(%)
日本デリカフーズ協同組合	3,624,773	13.7
(株)イトーヨーカ堂	3,476,307	13.2

4. 米穀事業の内容は次のとおりであります。

区 分		当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)			
		精米	玄米	その他	計
数量	構成比(%)	70.9	29.1	-	100.0
	トン	63,627	26,056	-	89,684
売上高	構成比(%)	71.8	28.1	0.1	100.0
	千円	15,653,908	6,133,381	22,547	21,809,837

2【事業等のリスク】

当第3四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

4【財政状態及び経営成績の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、昨年来の世界的な金融不安が实体经济に深刻な影響を及ぼしているなか、在庫調整の進展等を背景に景気の下げ止まりが見られるものの、設備投資意欲の低迷、雇用・所得の不安による個人消費の減退等により依然厳しい状況が続いております。

当社グループが属する米穀業界は、平成21年産米の作況が98（やや不良）となりましたが、米穀卸会社の平成20年産玄米在庫が高水準にあること、消費者の節約志向が強まるなか、小麦価格の大幅な値下げを背景にパンや麺類に比べ米消費が鈍化していることから、経営環境は厳しさを増しております。

このような環境のなか、当社グループの主力事業である米穀事業においては、卸会社間の玄米販売が依然低調であります。ミニマムアクセス米取扱いの増加や新規取引先開拓の進展等により精米販売数量が増加し、売上高は前年同期より増加いたしました。また、鶏卵事業や飼料事業における利益率の改善や全社的なコストダウンが進展したことから、食品事業の主力である鶏肉販売の採算悪化、米穀事業の利益率低下をカバーし、営業利益は前年同期を上回りました。しかしながら、急激な円高により為替差損等が発生したため、経常利益、四半期純利益が前年同期を下回りました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の業績は売上高26,392百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益221百万円（同13.4%増）、経常利益160百万円（同6.3%減）、四半期純利益101百万円（同11.5%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

米穀事業

米穀事業につきましては、ミニマムアクセス米取扱いの増加や新規取引先開拓の進展等により、売上高は21,809百万円（前年同期比11.7%増）となりました。消費者の節約志向に対応すべく小売各社が低価格商品の販売を拡充したこと、卸会社間の販売競争激化に伴う利益率の低下等により、営業利益は314百万円（同5.0%減）となりました。

鶏卵事業

鶏卵事業につきましては、鶏卵相場は前年同期を大幅に下回りましたが、業務用向けの販売を強化したことから、売上高は1,504百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益は36百万円（同73.1%増）となりました。

食品事業

食品事業につきましては、もち米等の販売数量の減少、鶏肉相場の大幅な下落等により、売上高は2,077百万円（前年同期比14.3%減）となりました。また、食品加工部門の収益改善が進展したものの、主力である鶏肉販売の採算が大幅に悪化したことから、営業利益は14百万円（同61.0%減）となりました。

飼料事業

飼料事業につきましては、販売数量の拡大に努めたものの、穀物等原料相場が大幅に下落したこと等により、売上高は1,000百万円（前年同期比11.8%減）となりました。新規取引先の開拓、新規商材の取扱いを強化したことから、営業利益は62百万円（同37.1%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ64百万円の減少となり、当第3四半期連結会計期間末では、2,207百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の営業活動の結果獲得した資金は、1,875百万円となりました。これは主に仕入債務の減少2,376百万円に対し、税金等調整前四半期純利益654百万円、売上債権の減少2,362百万円、たな卸資産の減少1,075百万円、賞与引当金の増加147百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の投資活動の結果使用した資金は、234百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出150百万円、貸付けによる支出95百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間の財務活動の結果使用した資金は、1,696百万円となりました。これは主に長期借入れによる収入500百万円に対し、短期借入金の減少334百万円、長期借入金の返済による支出1,025百万円、社債の償還による支出782百万円があったこと等によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第3四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第3四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

第4【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	30,000,000
計	30,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,530,000	8,530,000	㈱ジャスダック 証券取引所	単元株式数 1,000株
計	8,530,000	8,530,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成21年7月1日 ～ 平成21年9月30日	-	8,530	-	529,500	-	331,500

(5)【大株主の状況】

大量保有報告書等の写しの送付等がなく、当第3四半期会計期間において、大株主の異動は把握しておりませ
 ぬ。

(6) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成21年6月30日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成21年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 49,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,411,000	8,411	-
単元未満株式	普通株式 70,000	-	1単元(1,000株) 未満の株式
発行済株式総数	8,530,000	-	-
総株主の議決権	-	8,411	-

【自己株式等】

平成21年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
木徳神糧株	東京都江戸川区西 瑞江2-14-6	49,000	-	49,000	0.58
計	-	49,000	-	49,000	0.58

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	374	348	345	359	385	395	392	453	410
最低(円)	325	310	313	329	333	361	360	380	385

(注) 最高・最低株価は、株式会社ジャスダック証券取引所におけるものであります。

3 【役員状況】

前事業年度の有価証券報告書の提出日後、当四半期報告書の提出日までにおいて、役員の変動はありません。

第5【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、S K東京監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,254,402	2,335,410
受取手形及び売掛金	7,692,055	10,060,502
商品	2,021,543	2,358,451
製品	617,630	236,395
原材料	1,088,622	2,201,767
仕掛品	468,938	471,921
貯蔵品	94,117	115,468
繰延税金資産	170,587	158,128
未収入金	88,579	138,105
その他	258,967	335,457
貸倒引当金	11,598	3,351
流動資産合計	14,743,845	18,408,257
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,739,719	2,860,934
機械装置及び運搬具(純額)	1,103,324	1,232,316
土地	2,957,521	2,957,521
その他(純額)	58,247	45,352
有形固定資産合計	6,858,813	7,096,125
無形固定資産		
ソフトウェア	33,076	24,346
その他	44,733	30,526
無形固定資産合計	77,809	54,872
投資その他の資産		
投資有価証券	887,153	1,049,269
長期貸付金	7,503	30,480
長期前払費用	13,856	24,313
繰延税金資産	4,602	4,815
その他	776,651	775,286
貸倒引当金	116,928	129,971
投資その他の資産合計	1,572,838	1,754,193
固定資産合計	8,509,461	8,905,191
資産合計	23,253,307	27,313,449

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,988,044	6,392,209
短期借入金	8,199,140	8,550,514
1年内償還予定の社債	749,200	799,200
1年内返済予定の長期借入金	1,095,812	1,270,680
未払法人税等	272,121	115,067
賞与引当金	292,875	145,849
その他	1,303,125	1,850,231
流動負債合計	15,900,318	19,123,753
固定負債		
社債	375,100	1,107,800
長期借入金	1,313,857	1,664,399
繰延税金負債	501,365	564,133
退職給付引当金	30,380	26,937
負ののれん	1,456	16,285
その他	81,570	84,027
固定負債合計	2,303,729	3,463,582
負債合計	18,204,047	22,587,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	331,500	331,500
利益剰余金	3,859,396	3,506,869
自己株式	18,812	18,599
株主資本合計	4,701,583	4,349,269
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	7,755	59,587
繰延ヘッジ損益	20,129	76,403
為替換算調整勘定	51,401	45,073
評価・換算差額等合計	79,286	61,888
少数株主持分	426,963	438,732
純資産合計	5,049,260	4,726,113
負債純資産合計	23,253,307	27,313,449

(2) 【 四半期連結損益計算書 】
【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
売上高	79,444,974
売上原価	74,398,602
売上総利益	5,046,372
販売費及び一般管理費	4,290,493
営業利益	755,878
営業外収益	
受取利息	4,866
受取配当金	12,681
不動産賃貸料	46,471
負ののれん償却額	14,829
その他	60,224
営業外収益合計	139,072
営業外費用	
支払利息	181,512
不動産賃貸費用	14,067
デリバティブ評価損	188
為替差損	576
その他	15,885
営業外費用合計	212,229
経常利益	682,720
特別利益	
貸倒引当金戻入額	7,208
関係会社事業損失引当金戻入額	11,595
その他	1,011
特別利益合計	19,815
特別損失	
固定資産売却損	1,932
固定資産除却損	4,646
投資有価証券評価損	9,898
貸倒損失	10,291
貸倒引当金繰入額	14,430
その他	6,487
特別損失合計	47,686
税金等調整前四半期純利益	654,849
法人税、住民税及び事業税	316,946
法人税等調整額	71,606
法人税等合計	245,340
少数株主利益	1,088
四半期純利益	408,421

【第3四半期連結会計期間】

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
売上高	26,392,103
売上原価	24,764,928
売上総利益	1,627,174
販売費及び一般管理費	1,406,049
営業利益	221,125
営業外収益	
受取利息	1,250
受取配当金	3,083
不動産賃貸料	15,623
負ののれん償却額	3,955
デリバティブ評価益	12,225
為替差益	28,622
その他	13,855
営業外収益合計	3,080
営業外費用	
支払利息	50,376
不動産賃貸費用	5,111
デリバティブ評価損	188
為替差損	576
その他	1,185
営業外費用合計	57,438
経常利益	160,606
特別利益	
貸倒引当金戻入額	6,730
その他	438
特別利益合計	7,168
特別損失	
固定資産除却損	416
投資有価証券評価損	8,510
貸倒引当金繰入額	534
その他	1,181
特別損失合計	9,573
税金等調整前四半期純利益	158,201
法人税、住民税及び事業税	98,959
法人税等調整額	41,442
法人税等合計	57,516
少数株主損失()	601
四半期純利益	101,287

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成21年1月1日
 至平成21年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	654,849
減価償却費	401,390
負ののれん償却額	14,829
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,143
賞与引当金の増減額(は減少)	147,025
事業損失引当金の増減額(は減少)	11,595
役員賞与引当金の増減額(は減少)	3,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	3,442
受取利息及び受取配当金	17,547
支払利息	181,512
固定資産売却損益(は益)	1,932
固定資産除却損	4,646
デリバティブ評価損益(は益)	188
投資有価証券評価損益(は益)	9,898
貸倒損失	10,291
売上債権の増減額(は増加)	2,362,220
たな卸資産の増減額(は増加)	1,075,022
仕入債務の増減額(は減少)	2,376,126
その他	284,269
小計	2,152,194
利息及び配当金の受取額	16,240
利息の支払額	174,940
法人税等の支払額	152,920
その他の収入	46,471
その他の支出	11,336
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,875,709
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(は増加)	16,578
有形固定資産の取得による支出	150,489
有形固定資産の売却による収入	2,068
無形固定資産の取得による支出	18,755
投資有価証券の取得による支出	46,403
投資有価証券の売却による収入	82,000
出資金の回収による収入	2,000
貸付けによる支出	95,558
貸付金の回収による収入	37,414
その他	63,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	234,891

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成21年1月1日
 至平成21年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(は減少)	334,994
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	1,025,410
社債の償還による支出	782,700
自己株式の処分による収入	94
自己株式の取得による支出	306
配当金の支払額	42,402
少数株主への配当金の支払額	10,387
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,696,106
現金及び現金同等物に係る換算差額	
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	58,435
現金及び現金同等物の期首残高	2,271,377
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額(は減少)	24,925
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	30,770
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,207,095

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
1. 連結の範囲に関する事項の変更	<p>(1) 連結の範囲の変更 第1四半期連結会計期間より一番保険サービス(株)について四半期純損益及び利益剰余金等からみて四半期連結財務諸表に及ぼす影響が軽微であり、且つ全体としても重要性がなくなったため、連結の範囲から除外しております。</p> <p>(2) 変更後の連結子会社の数 10社</p>
2. 会計処理基準に関する事項の変更	<p>(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更 たな卸資産 米穀事業の商品・原材料については、従来、先入先出法による低価法、その他のたな卸資産については主として先入先出法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。 この変更による損益への影響は軽微であります。</p> <p>(2) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用 第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会平成18年5月17日実務対応報告第18号)を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。 この変更による損益への影響はありません。</p> <p>(3) リース取引に関する会計基準の適用 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号(平成5年6月17日(企業会計審議会第一部会)、平成19年3月30日改正))および「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号(平成6年1月18日(日本公認会計士協会 会計制度委員会)、平成19年3月30日改正))が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができるようになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。 これによる損益への影響はありません。 なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引及びリース料総額が3,000千円以下の企業の事業内容に照らして重要性の乏しい所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。</p>

【簡便な会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)
1. たな卸資産の評価方法	当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。 また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについて簿価切下げを行う方法によっております。
2. 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法	繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、且つ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度末 (平成20年12月31日)
1	有形固定資産の減価償却累計額は、10,702,149千円であります。	1	有形固定資産の減価償却累計額は、10,357,263千円であります。
2	保証債務 下記関係会社の金融機関等からの借入金等に対し、債務保証を行っております。 東洋キトクフーズ(株) 140,754千円 木徳九州(株) 556,097 備前食糧(株) 1,455,705 アンジメックス・キ トク有限会社 45,506 合計 2,198,063	2	保証債務 下記関係会社の金融機関等からの借入金等に対し、債務保証を行っております。 東洋キトクフーズ(株) 162,500千円 木徳九州(株) 727,390 備前食糧(株) 1,688,720 合計 2,578,610

(四半期連結損益計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
運賃荷役料	1,672,160千円
給料及び手当	1,095,965
減価償却費	67,608
賞与引当金繰入額	176,156
退職給付費用	35,712

当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。	
運賃荷役料	545,033千円
給料及び手当	364,252
減価償却費	24,488
賞与引当金繰入額	48,463
退職給付費用	10,661

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係	
(平成21年9月30日現在)	
現金及び預金勘定	2,254,402千円
預入期間が3か月を超える定期預金	47,306
現金及び現金同等物	2,207,095

(株主資本等関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数

普通株式 8,530,000株

2. 自己株式の種類及び株式数

普通株式 49,904株

3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年3月25日 定時株主総会	普通株式	25,442	3	平成20年12月31日	平成21年3月26日	利益剰余金
平成21年8月13日 取締役会	普通株式	16,960	2	平成21年6月30日	平成21年9月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間末後となるもの。

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

	米穀事業 (千円)	鶏卵事業 (千円)	食品事業 (千円)	飼料事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	21,809,837	1,504,189	2,077,966	1,000,109	26,392,103	-	26,392,103
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	445,631	5,395	56,254	-	507,281	(507,281)	-
計	22,255,469	1,509,584	2,134,220	1,000,109	26,899,384	(507,281)	26,392,103
営業利益	314,981	36,961	14,523	62,741	429,208	(208,082)	221,125

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・商品

- (1) 米穀事業.....業務用精米、家庭用精米、玄米、加工米飯用米等
- (2) 鶏卵事業.....家庭用卵(一般卵・特殊卵)、業務用卵
- (3) 食品事業.....鶏肉、加工食品、米粉等
- (4) 飼料事業.....飼料

当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

	米穀事業 (千円)	鶏卵事業 (千円)	食品事業 (千円)	飼料事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	65,468,963	4,730,810	6,281,234	2,963,966	79,444,974	-	79,444,974
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,542,456	16,329	139,409	-	1,698,195	(1,698,195)	-
計	67,011,419	4,747,139	6,420,644	2,963,966	81,143,169	(1,698,195)	79,444,974
営業利益	1,061,512	118,833	55,208	178,438	1,413,993	(658,114)	755,878

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・商品

- (1) 米穀事業.....業務用精米、家庭用精米、玄米、加工米飯用米等
- (2) 鶏卵事業.....家庭用卵(一般卵・特殊卵)、業務用卵
- (3) 食品事業.....鶏肉、加工食品、米粉等
- (4) 飼料事業.....飼料

【所在地別セグメント情報】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年1月1日至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

デリバティブ取引の当第3四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度末と比較して著しい変動がありません。

(ストック・オプション等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第3四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成20年12月31日)
1株当たり純資産額 545.08円	1株当たり純資産額 505.54円

2. 1株当たり四半期純利益金額等

当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 48.16円	1株当たり四半期純利益金額 11.94円
なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益		
四半期純利益(千円)	408,421	101,287
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	408,421	101,287
期中平均株式数(千株)	8,480	8,480

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第3四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っておりますが、当第3四半期連結会計期間末におけるリース取引残高は、前連結会計年度末と比較して著しい変動が認められないため、記載しておりません。

2【その他】

平成21年8月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....16,960千円

(ロ) 1株当たりの金額.....2円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成21年9月28日

(注) 平成21年6月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行いません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月11日

木徳神糧株式会社
取締役会 御中

S K 東京監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 江部 安弘 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 久保 圭寿 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている木徳神糧株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、木徳神糧株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

-
- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。